

平成29年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

施設名称	多摩区第2グループ(錦ヶ丘・三田)	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H28		H29		H28		H29		
	1 錦ヶ丘こども文化センター ①年間延べ利用者数	20,959人	21,616人	②年間延べ利用団体数	354団体	309団体			
2 南生田小学校わくわくプラザ ①登録者数	478人	476人	②年間延べ利用者数	27,094人	31,250人				
3 生田小学校わくわくプラザ ①登録者数	234人	247人	②年間延べ利用者数	13,433人	14,076人				
1 三田こども文化センター ①年間延べ利用者数	32,838人	33,253人	②年間延べ利用団体数	477団体	472団体				
2 三田小学校わくわくプラザ ①登録者数	309人	323人	②年間延べ利用者数	18,881人	23,190人				
収支実績	単位:円								
1 収入									
指定管理料			95,163,657						
2 支出									
人件費			82,059,217						
管理費			6,718,699						
事務経費			4,238,664						
その他経費			5,028,285						
合計			98,044,865						
3 差引			-2,881,208						
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。								

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・今年度新たに、第2グループ合同事業として、3つの小学校の生徒を集めて「ゲームアイランド～全ての島を制覇しよう!～」や「めざせ冒険王!!～そらだ、こどもの国へ行くこ!～」を実施し、異年齢交流を促進した。また、こども文化センターとわくわくプラザ合同で、老人いこいの家の利用者や地域住民を招待して「ファミリーコンサート」を実施し、南生田小学校の生徒が「銭太鼓」を披露するなど、多世代交流の場を提供した。 ・錦ヶ丘こども文化センターでは、今年度新たに、単館主催の宿泊野外事業「キャンプだよ!全員集合!」を実施し、宿泊を通して、自主性や協調性を学んだほか、異年齢交流が促進されるなど、青少年の健全育成に寄与している。 ・新たな取組として、南生田小学校わくわくプラザでは、子ども運営会議の中で、「地域の高齢者福祉施設に銭太鼓を披露し、高齢者を喜ばせたい」と意見があり、「笑顔にさせ隊」を実施したり、三田小学校わくわくプラザでは、地域の老人福祉施設と生田中学校吹奏楽部と連携してクリスマスコンサートを実施するなど、多世代交流が図られている。 ・こうした取組により、両こども文化センターの来館者数は、昨年度と比較して約1100人増加した。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
(評価の理由) ・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通して、利用者ニーズ把握に努め、施設利用ルールの改定等に利用者意見を反映しているとともに、苦情等への対応が適切に行われている。特に、錦ヶ丘こども文化センターでは、意見箱や日々の聞き取りで把握した要望に応え、「だし&映画会」や「バドミントン大会」を実施しているほか、三田小学校わくわくプラザでは、子ども運営会議やご意見BOXに寄せられた意見を「わいわいタイム」や「わくどキタイム」等の内容に反映しており、運営・業務の改善に繋げている。 ・学校及び行政機関との連携について、学校施設開放委員会や学校行事の参加に加え、中学生の職業体験を受け入れるとともに、老人いこいの家との共催事業を実施するなど、地域と連携し、特色ある事業を実施している。 ・特に、三田こども文化センターでは、近隣に大学が複数あるという地域特性を利用して、明治大学や専修大学と連携して事業を実施しており、今年度は新たに、専修大学ボランティアサークルSIVと連携して、防犯安全教室を実施したほか、中央大学人形劇サークルとも連携して人形劇を実施しており、大学生と小学生との多世代交流を促進している。 ・施設・事業の広報について、「中学生・高校生たより」を年2回発行するとともに、ホームページやおたより等多様な媒体を用いて積極的な広報を行っている。特に、町会の情報誌にこども文化センター行事を掲載している。 ・運営協議会が事業計画どおり設置・開催されているだけでなく、三田こども文化センターでは、運営協議会のメンバーや、運営協議会からのつながりで地域の人を講師として、様々な行事や研修を実施したり、錦ヶ丘こども文化センターでは、老人いこいの家とも連携しながら「夏祭り」「こ文deハロウィン」「おもちゃつき」といった共催事業を積極的に実施するなど、地域の連携強化や多世代交流を促進している。					

組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な人員配置については、子ども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置がされている。</li> <li>・職員の研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修が行われていた。また、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しており、研修資料やレポートをファイル等に一元化し、職員が閲覧出来る等、共有化の仕組み作りが出来ている。特に、保護者対応研修に力を入れており、全職員が適切な対応が出来るようにしている。また、臨床美術士の資格を持つ運営協議会メンバーを講師として「美術研修」を実施し、工作行事の進め方や作品の評価の仕方を学び、プラバンやデコおやつ等の工作行事に活かしている。</li> <li>・個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。	5	4	4
施設の防犯対策に工夫がなされているか。					
災害発生時に備えた対応が図られているか。					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備の保守管理については、子ども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。</li> <li>・利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、実際の事故やヒヤリハット事例をもとに法人本部で「事例検討シート」を年2回作成し、館長会議、各館での職員会議、スタッフ会議と三階層において議論を重ね、そこで得られた対応策を集約して共有するなど、職員等の資質向上を図っている。</li> <li>・防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。特に、三田小学校わくわくプラザでは、スポーツ関係のNPOと連携して「防犯スポーツ教室」を実施し、興味深く実践的な講習を通して、防犯の普及啓発活動を積極的に行った。</li> </ul>					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。</li> <li>・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。</li> </ul>				
<p>支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。</p>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に長年に渡り携わってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している、市内20グループの指定管理を行うスケールメリットを活かし、全グループ合同行事、区合同行事等に加え、各館独自の事業、新規事業にも取り組んでいる。</p> <p>特に、新規事業として「ゲームアイランド～全ての島を制覇しよう！～」や「めざせ冒険王！！～そうだ、子どもの国へ行こう！～」、老人いこいの家の利用者や地域住民を招待した「ファミリーコンサート」等、特色あるイベントを企画・実行して、異年齢交流や多世代交流を推進した。</p> <p>また、各種研修に参加し、職員の資質向上に努め、良質なサービスを提供している。</p>
--

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子どもも顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。</p>
---